

2016年度看護部活動計画報告会

- 17:00~17:10 2016年度看護部の活動方針について
伊藤看護部長
- 17:11~17:18 教育委員会
- 17:19~17:26 業務委員会
- 17:27~17:34 感染防止委員会
- 17:35~17:42 医療安全委員会
- 17:42~17:52 質疑応答
- 17:52~17:59 主任会
- 18:00~18:07 副主任会
- 18:08~18:15 専門認定看護師会
- 18:16~18:23 実習指導者会
- 18:23~18:33 質疑応答
- 18:33~18:38 責任者会GW 看護業務の再構築と推進WG
18:39~18:44 責任者会GW 人材開発の推進WG
18:45~18:50 責任者会GW 退院支援看護師育成推進WG
- 18:50~18:55 質疑応答
- 18:55 閉会のあいさつ

2016年6月16日に今年度の看護部活動計画の報告会が開かれました。上記は当日の進行表です。



伊藤由美子看護部長が冒頭で今年度の看護部の方針について再確認を行いました。

2016年度 看護部の活動目標・戦略

1. 人材と変革の視点：専門職として自ら学習し、実践した看護に責任を持つ
 - 1) 「愛の看護」実践者としてキャリア志向をもてる
 - 2) 働き続けられる労働環境整備の推進を図る
2. 業務プロセスの視点：成長する病院の仕組みを創造する
 - 1) 看護提供システムの確立を推進する
 - 2) 「PFMシステム」確立と多職種協働によるチーム医療の実現を推進する
3. 顧客の視点：対象者の価値観と期待に応じたチーム医療を推進する
 - 1) 5つの安全管理体制の徹底
 - 2) 多職種チーム医療の推進
4. 財務の視点：収支バランスのとれた病院運営に貢献する
 - 1) 看護関連診療報酬の獲得維持を図る
 - 2) 高度急性期急性期病院として成長できる病床管理を実現する——多摩南地区地域医療構想を意識した病床管理の実現
 - 3) 看護活動から得られる経営指標分析により病院運営に貢献する

上記は今年度の看護部活動目標・戦略の大枠です。



上記は、看護部医療安全委員会の今年度活動骨子が述べられているところです。委員会の代表である佐伯真吾師長が発表をしています。



写真は、ヴァージニア・ヘンダーソン著『看護の基本となるもの』の表紙です。上野正文看護次長が、今年度看護の拠り所として今一度立ち返り、行っている看護の再点検を行おうと呼びかけています。



このように当院看護部では、毎年6月に各会議体の活動方針を看護部全員で共有する機会を設けています。そして3月には活動報告会が行われ、各会議体の活動成果が発表され、年度を締めくくります。